



口内炎 ってなに?

どんな
病気?

さまざまな要因から口の中の粘膜に炎症が起きる病気。

人と同じように、犬にも口内炎ができます。口の中の粘膜が炎症を起こし、赤くなったり、ただれたりするほか、出血したりします。犬では、進行した歯周病に続発して起きることが多いとされています。

おもな
原因

進行した歯周病による口内炎がもっとも多いとされていますが、
口内炎を引き起こす原因はさまざまです。

- 進行した歯周病 **多い**
- 腎臓病や糖尿病など免疫が低下する病気
- 毒物の摂取
- 免疫の異常
- 歯並びの悪さ
- 自分で噛んでしまう など

おもな
症状

見た目でわかる口の中の炎症だけでなく、
口内の違和感や痛みにより行動にあらわれることも。

口の中にあらわれる症状



● 歯石に触れて 局所的に発生

犬歯に付着した歯垢や歯石が原因の症例。この歯と接触する粘膜に、炎症が起きています



● 歯周病で水疱が いくつも発生

ほおの内側に水疱がいくつも見られます。ほおを引くと、患部が引きつれて痛がります



● 歯並びが悪く 奥にできたタイプ

本来、生えない場所に歯が生えたことで、口を閉じたときに粘膜が当たり生じた例です

行動にあらわれる症状

● ヨダレが多い

ヨダレが一日中出ているほか、血が混じったり、ニオイがきつくなったりします。ヨダレにより、口のまわりの毛が変色することもある

● 口が臭い

口の中にトラブルがなければ、犬の口はにおいしません。口内炎でも口臭がきつくなります

● 口をクチャクチャする、舌をペロペロする

口内炎による痛みや不快感から、何も食べていないのに口をクチャクチャと鳴らしたり、口元を頻繁になめたりします



● 食べ方がおかしい
ゴハンを口からこぼす、ドライフードを食べない、水を飲めない、飲食時に悲鳴を上げるなどの様子も

● 顔をかく、こすりつける

口の中に違和感があるため、顔をかいたり、こすりつけたりします

治療法

口内炎の原因になっている腎臓病や糖尿病、自己免疫疾患などの基礎疾患が見つければ、それに合った治療を優先して行います。歯周病があれば、歯垢・歯石の除去手術を行うことに加え、抜歯が必要になる場合も。

予防法

歯ブラシでの歯みがきを徹底し、口内環境を清潔に保つことで、歯周病が原因になる口内炎を防ぎやすくなります。口腔ケアの際に、ほおの内側などもチェックすれば早期発見にもつながります。

いぬに多い病気、そこが知りたい! は「いぬのきもち」で連載中!

●こちらは、掲載した記事を再編集したものです。

アニコム損保ご契約者が
マイページから定期購読を申込むと
2号 (2ヶ月分) **無料!!**